

2025年2月16日

医療機関で急性大動脈解離や大動脈瘤破裂の治療を受けた

患者、ご家族さまへ

研究へのご協力をお願い

当学会では、以下の臨床研究を実施しております。この研究では、これまでお受けになられた標記疾患の治療について、手術データベース*に登録されている情報を用います。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

*手術データベース：今回用いるのは National Clinical Database(NCD)という手術データベースです。患者さんの手術に関するデータが主治医によって登録されているデータベースです。

【対象となる方】2022年1月～2023年12月の間に、全国の医療機関にて、急性大動脈解離や大動脈瘤破裂の診断のもとで治療（外科手術やカテーテル治療）を受けられた方

【研究課題名】大動脈緊急症に対する open surgery または血管内治療の実施状況把握のための全国調査研究

【研究責任者】旭川医科大学外科学講座血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野・教授 東 信良

【研究の目的】急性大動脈解離や破裂性大動脈瘤を含む大動脈緊急症を救命するためには、大動脈緊急症に対応可能な高度医療を実践できる治療病院を拠点とした地域ネットワークの確立が望ましいと考えられており、2018年に制定された循環器病対策基本法、および、同法に基づいて定められた循環器病対策推進基本計画においても、救急治療体制整備を計画の柱のひとつとして、その実現を求めています。本研究では、大動脈緊急症治療を行っている病院がどのような範囲から当該疾患患者を受け入れているのか、患者搬送実態を明らかにするとともに、どのような条件を有する病院が拠点として望ましいのかを、全国規模で明らかにすることを目的としております。

【利用する診療関連情報】

・手術データベース (JCVSD を含む NCD) に登録されている以下の情報：診断名、年齢、性別、疾患発生地郵便番号、手術実施医療機関名、手術日、手術の緊急度、手術術式、重症度および

・治療を受けた医療機関に関する以下の情報：心臓血管外科医師数/心臓血管外科専門医数/循環器内科医数/循環器内科専門医数/麻酔科専門医数・麻酔科当直または夜勤者数/救急専門医数・集中治療専門医数/脳神経外科専門医数/消化器外科専門医数/ICUの有無およびICU基準レベル/急性期病床数

【研究期間】 倫理委員会承認日より 2026 年 12 月 31 日まで (予定)

【個人情報の取り扱い】

手術データベースに登録されている情報のみを扱うので、個人を特定する情報は含んでおりません。

【情報の管理者】

旭川医科大学外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野・講師 菊地信介

【研究の実施体制】

本研究は、日本心臓血管外科学会および日本血管外科学会が協力して、下記の体制を組み、実施する。

1)研究代表者

旭川医科大学 外科学講座血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野・教授 東 信良

2)共同研究機関及び各機関の研究責任者

愛知医科大学 血管外科・教授	児玉 章朗
大分大学 心臓血管外科学・教授	宮本 伸二
関西医科大学 血管外科・教授	森景 則保
京都大学 心臓血管外科学・教授	湊谷 謙司
慶應義塾大学 血管外科・准教授	尾原 秀明
神戸大学 心臓血管外科・教授	岡田 健次
国際医療福祉大学 血管外科・教授	前田 剛志
国立循環器病研究センター 血管外科	松田 均
千葉大学 心臓血管外科学・教授	松宮 護郎
東京大学 心臓血管外科・教授	小野 稔

東邦大学医療センター佐倉病院 心臓血管外科学・教授
富山大学 心臓血管外科学・教授

本村 昇
芳村 直樹

【研究の結果に関して】

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究代表者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、日本心臓血管外科学会公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】

旭川医科大学 外科学講座血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野・教授 東 信良
電話 0166-68-2494